

Seborami

(セボラミ)

オイリー肌向け皮脂調整コンプレックス

【特長】 過剰な皮脂分のみを抑制する水溶性原料
ゴボウエキス・エリシマムエキスが皮脂をコントロール
 α ヒドロキシ酸・PCA 亜鉛がアクネ菌を抑制

【コンセプト】

皮脂の過剰分泌が脂性肌の根本的な原因です。脂性肌では結果として、角質を肥厚し、角栓ニキビができやすくなっています。

しかし、皮脂は必ずしも、肌に有害ではありません。皮脂には、化学物質・微生物から皮膚を守る重要な役割があります。Seboramiは私達の体に自然に備わった抵抗力を維持しつつ、過剰な皮脂だけを抑制したいという特別なニーズに合わせて開発されました。複数の成分によって異なる観点からニキビの問題を解決し、ゆるやかにやさしく肌に作用します。

～Seboramiに含まれる成分～

- 硫黄成分によって皮脂分泌をコントロールする 2 つの植物エキス



ゴボウエキス

古代ローマの時代から薬草として使われてきました。ネロ皇帝軍の軍医ディオスコリデスは、肌を柔らかくする薬として推奨していたと言われています。現在フランスでは、植物由来の薬として登録されており、「脂性肌」に「伝統的に使われていた」というマーケティングクレームが承認されています。



エリシマムエキス

硫黄成分「シニグリン」を豊富に含むこの植物は、消毒作用がある事が古くから知られており、聖歌隊の喉薬としても使われていました。この消毒作用によって、毛胞内の微生物の増殖を減少させます。Seboramiはシニグリンの量が規格設定されていますので、確実な効果が期待できます。

- 2つの α ヒドロキシ酸(AHA): **クエン酸** & **グリコール酸**

穏やかな角質剥離作用によって、毛穴のつまりを予防します。

- **PCA 亜鉛**

天然の補修因子(NMF)として、ニキビ菌を抑制し、皮脂分泌を調節します。

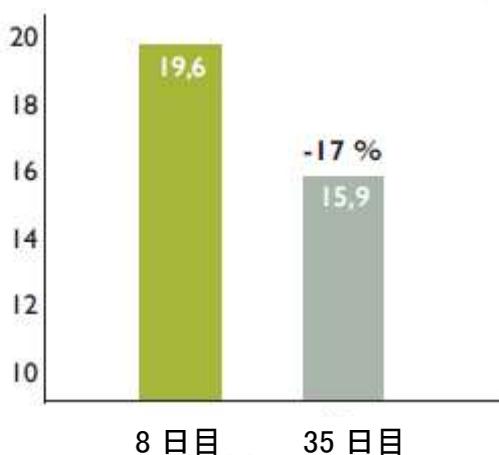
【効果・効能】

官能テスト

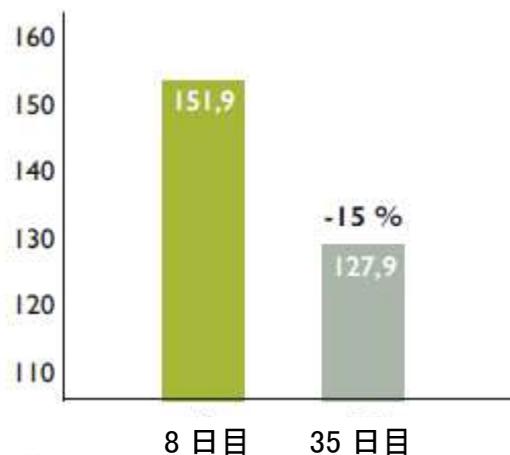
Seborami 1%配合のクリームの安全性と効果を、脂性肌もしくは混合肌を持つ16人のボランティアに塗布して確認しました。

- ①1日目～8日目:1日1回、一週間肘窩に塗布し、肌に異常がないかどうかを予めチェック。
- ②8日目:投与直前のデータを取得。
- ③8日目～35日目:1日2回、顔に塗布。
- ④35日目:炎症、皮脂の分泌量、皮脂スポットの数について測定し、8日目とデータと統計的に比較しました。

皮脂分泌量



皮脂スポット数



その結果、

Sebutapeによる皮脂分泌の測定

- ・**皮脂分泌量は17%減少。**
- ・**皮脂スポット数は15%減少。**

この結果は Seboramiが**ニキビを作りにくい成分**である事を意味します。

【商品情報】

商品名: Seborami (セボラミ)

表示名称: グリセリン、水、カキネガラシエキス、ゴボウ根エキス、クエン酸、グリコール酸、PCA 亜鉛、スクレロチウムガム

推奨配合量: 2%-5%

製造元: CRODA

2009/9/1

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしており、
効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。